

【23】不動尊秘密陀羅尼經

刊1冊

雒東書師 岡村元春棲敬書写

〔書名よみ〕 ふどうそんひみつだらにきよう 〔編著者〕 金剛手

菩薩説、三藏般若遮加羅訳 〔写刊年次〕 未詳（江戸後期か）

洛陽書林 北村吉兵衛

伊藤次郎兵衛 刊行

〔外題〕 不動尊秘密陀羅尼經

〔内題〕（ア） 聖無動尊大威怒王秘密陀羅尼經

（イ） 仏説聖不動經

（ウ） 三十六童子

（エ） 八大童子

〔その他〕

〔尾〕（ア） 聖無動尊大威怒王秘密陀羅尼經

（イ） 仏説聖不動經

〔残欠状況〕 中欠 〔保存状況〕 小破 〔装訂〕 折本 〔丁数〕 一八

折 〔本文用字〕 漢字 〔二面行数〕 四行、一行一七字 〔界線〕

天地にあり、界高 二・一〇、上欄高 三・三、下欄高 二・四糎

〔表紙〕 朱地・金法輪草葉模様 〔法量〕 縦二六・九×横八・七糎

〔料紙〕 楮紙（厚） 〔書入〕 裏面に「庚申符法」「庚申和讃」など墨書

書入あり。 〔印記〕 ナシ 〔備考〕 慈海版の後刷版。刷訓点あり。

〔刊記〕

此經異本多焉予投間暇周覽校正命

剗刷寿梓持流于萬世云

貞享二年（一六八五）乙丑九月穀旦

慈海宋順

〔識語〕（墨書）

慶応元^{乙丑}載仲秋新調

春光山圓覺寺

所藏

〔解題〕

本書は、慈海版の一書である。慈海版とは、慈海宋順（一六二四〜九三）が校合・校正した經典類のことをさす。慈海宋順は、東叡山寛永寺の子院凌雲院に住し、学頭として名を馳せた人物である。慈海宋順の經典の読み方は、「慈海読み」と呼ばれ、江戸時代から現代に至るまで、天台宗で依用される読み方は、この慈海読みに基づくものである。

慈海宋順については、中川仁喜氏の論考に詳しい。^① 慈海宋順の伝記は、「凌雲院歴代伝」および「護国院第二世大僧正慈海伝」によると、^② 慈海宋順は武蔵野国荏原郡の出自という。寛永寺護国院の生順に師事し、学問の研鑽に努める。延宝五年（一六七七）五十四歳の時に仙波北院の第三十世となり、天和二年（一六八二）には寛永寺学頭凌雲院第四世となる。さらに貞享二年（一六八五）正僧正に補任されて西塔宝蘭院を兼領することとなるが、この頃に、慈海版と呼ばれる經典群が刊行される。本書はまさに「貞享二年」の原刊記を持ち「慈海宋順」の名を記した版本である。

中川氏によれば、慈海版は、天台宗内とりわけ寛永寺内で需要が高い読誦經典が選択されていること、また他宗（日蓮宗や真言宗、禪宗など）、さらには在家仏教徒の需要にも応えたことに意義があるという。本書は

後者に当たる一書であろう。

本書は、貞享二年に刊行された慈海版を刷り直した町版である。「洛陽書林」とあるように、「北村吉兵衛」「伊藤次郎兵衛」は京都の書肆である。中川氏によれば、これら慈海版は町版でありながら「宮様本」と称され、格式をもって受け入れられ、流布したとのことである。

中川仁喜氏架蔵本の写真を最後に付した。刊記を見比べると、違いがある。中川氏本は「伊藤次郎兵衛」の刊記のみであるが、円覚寺本には、「伊藤次郎兵衛」の他に、「北村吉兵衛」の名と、書師の「岡村元春」が加わっている。

福島県二本松市の旧大音院修験資料(調査表)その他経本類⁽³⁾にある、『不動経全部』は、縦二七・〇糎、横八・五糎、厚さ二・〇糎、年代に「貞享二年(一六八五)版」、備考に「聖無動大威怒王秘密陀羅尼經」「洛陽書林 伊藤次郎兵衛刊行」「慈海宋順」裏書きあり」などがあり、これも同書(中川氏蔵本と同じもの)と思われる。

「雄東書師 岡村元春棲敬書写」とあるが、この「岡村元春(岡元春)」(一六六三〜一六九五…)は、著名な書家であった。松永知海氏によれば、浄土宗を代表する学僧、義山の校訂した浄土宗典籍を出版された際、その書は、書師元春の端正な書体に依ったとされる。また元春は、黄檗宗において書家として高く評価され、隠元禪師とともに日本に渡ってきた中国の高僧たちからも讃辞が寄せられていたという。版下書家として寛文から元禄期に活躍し、義山の浄土宗典籍校訂出版を支えた人物であったのである。

〔注〕

(1) 中川仁喜「慈海宋順について」『天台学報』五四、二〇一二年一月)を参照。

(2) いずれも叡山文庫双巖院蔵『東叡山寛永寺子院歴代年譜』所収。

引用は、前掲中川論文によった。

(3) 福島県二本松市の公式ウェブサイトによる。

〔参考〕

- ・ 中川仁喜「慈海宋順について」『天台学報』五四、二〇一二年一月
- ・ 松永知海「研究ノート」書師岡村元春と義山版」『仏教学浄土学研究』香川孝雄博士古稀記念論集、永田文昌堂、二〇〇一年)
- ・ 竹村真一『明朝体の歴史』(思文閣出版、一九八六年)
- ・ 「岡元春」^{おかげんしゅん}の項(大槻幹郎編著『黄檗文化人名辞典』思文閣出版、一九八八年)

(渡辺 麻里子)

円覚寺本表紙裏



聖無動尊大威怒王祕密陀羅尼經

金剛手菩薩說

三藏般若遮加

二羅此云譯
合編智

序分爾時毗盧遮那大會中有一菩薩摩訶薩名

曰金剛手與妙吉祥菩薩俱此金剛手是法
身大士是故名普賢即從如來得持金剛杵
其金剛杵五智所成故名金剛手又妙吉祥
菩薩是三世覺母故名文殊師利如是菩薩
為度眾生現菩薩身成就戒定慧解脫解脫
知見善能通達諸陀羅尼門其心禪寂常住
三昧降伏眾魔令入正見得大智慧無有障
礙能隨眾生轉大法輪吹解脫風除眾生熱

曰金剛手與妙吉祥菩薩俱此金剛手是法
身大士是故名普賢即從如來得持金剛杵
其金剛杵五智所成故名金剛手又妙吉祥
菩薩是三世覺母故名文殊師利如是菩薩
為度眾生現菩薩身成就戒定慧解脫解脫
知見善能通達諸陀羅尼門其心禪寂常住
三昧降伏眾魔令入正見得大智慧無有障
礙能隨眾生轉大法輪吹解脫風除眾生熱
惱雨大法雨澍眾生心地殖善根種亦能具
足祕密之藏其心自在或現多身復合多身
以為一身隨眾生願能與悉地以宿願藥療
眾生病是大菩薩戴五髻冠顯五種智慧智
慧如日月照諸暗冥常為人天之所恭敬設
大法船普度苦海令到彼岸心無傾動不除
塵垢能誘眾生令見妙色如是功德甚深無
量設經多劫讚不能盡是二菩薩成就如上

當知是人無有橫死亦無恐怖蒙諸天護持
無諸障礙何況如上作念誦者其福無量作
是語已默然而坐金剛手言善哉善哉如大
聖說說是言已遂其本意還著本座

爾時大眾聞說是經已各得勝位皆大歡喜
信受奉行

聖無動尊大威怒王祕密陀羅尼經

佛說聖不動經

爾時大會有一明王是大明王有大威力大
悲德故現青黑形大定德故坐金剛石大智
慧故現大火焰執大智劍害貪瞋癡持三昧
索縛難伏者無相法身虛空同體無其住處
但住衆生心想之中衆生意想各各不同隨
衆生意而作利益所求圓滿爾時大會聞說
是經皆大歡喜信受奉行

佛說聖不動經

爾時大會有一明王是大明王有大威力大
悲德故現青黑形大定德故坐金剛石大智
慧故現大火焰執大智劍害貪瞋癡持三昧
索縛難伏者無相法身虛空同體無其住處
但住衆生心想之中衆生意想各各不同隨
衆生意而作利益所求圓滿爾時大會聞說
是經皆大歡喜信受奉行

佛說聖不動經

三十六童子

希迦羅童子	制吒迦童子	不動慧童子
光網勝童子	無垢光童子	計子你童子
智慧幢童子	質多羅童子	召請光童子
不思議童子	囉多羅童子	波羅波羅童子
伊醯羅童子	師子光童子	師子慧童子
阿婆羅底童子	持堅婆童子	利車毗童子

誦此童子名，皆悉退散去。若有苦厄難，
怨咀病患者，當呼童子名，須臾得吉祥。
恭敬禮拜者，不離於左右，如影隨形護，
獲得長壽益。

八大童子

慧光童子

慧喜童子

阿耨達多童子

指德童子

烏俱婆誡童子

清淨童子

矜羯羅童子

制吒迦童子

稽首聖無動，摩訶威怒王，極大慈悲心，
愍念衆生者，本體盧遮那，久遠成正覺，
法身徧法界，智慧同虛空，無相而現相，
相徧世界海，無聲而有聲，聲聞塵刹土，
爲護持佛法，爲利樂羣生，無邊相好海，
變現瞋怒相，慈眼視衆生，平等如一子，
方便垂一髮，表示第一義，金剛智能斷，
難斷諸煩惱，執持猛利劍，一斷無餘習。

無始已來，無量罪，今世所犯，極重罪，
日日夜夜所作，罪，念念步步所起，罪，
眞言威力，皆消滅，命終決定，生極樂，
荷負引導，師父母，拔濟生死，大苦海，
爲我有恩，先亡者，有緣知識，男女等，
大作方便，皆引導，共生安養，上妙刹，
乃至四恩，諸衆生，皆悉利益，共成佛。

此經異本多焉，予投閒暇，周覽校正，命
剏氏壽梓以流于萬世云。

貞享二年乙丑九月穀旦

慈海宋順

權東書師 岡村元春樓敬書寫
俗陽書林 北村吉兵衛刊行
伊藤次郎兵衛

此經異本多焉予投閒暇周覽校正命

剏刷氏壽梓以流于萬世云

貞享二年乙丑九月穀旦

慈海宋順

雅東書師

岡村元春棲敬書寫

洛陽書林

北村吉兵衛刊行
伊藤次郎兵衛

慶應元乙丑載仲秋新調

春光山圓覺寺

所藏

庚申待法

先護身法如常

次無所不至印

唵形信禮故信礼米他利々々婆婆訶

印 傳 加持面授有ハヒ

唵帝婆藥叉盤陀阿ソワカ

同印 歌曰

尚迦羅耶亥子乃申子農我カ床仁寤留曾寢奴曾

寢奴曾 穴糖多留曾

四明 拍掌 彈指

庚申 和讃

飯命青面金剛王

觀音薩埵ノ應化ニテ

深ク衆生ヲ憐ミテ

難波ニ降臨シ給エリ

二世安樂ノ誓ニテ

昂十六臂ノ身ヲ現ジ

初ノ御手ニ夜叉鬼神

第ニ御手ニ智慧ノ劍

三ノ御手ニ輪寶ヨ

第四ノ御手ニ鉞ヲ持テ

五六ノ御手ニ弓箭持テ

火難水難風火難

盜賊飢渴咒詛難

疫病兵乱種々ノ難

八万四千ノ煩惱ヲ

餘サシホロボシ給エツ

福德般若ノ智慧満テ

壽命長久カリナシ



中川仁喜氏架藏本



円覺寺本

